

# 学力向上アクションプラン(豊後大野市)

## 目標及び指標

【目標】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「新大分スタンダード」にもとづいた授業力の向上における「わかる」授業の構築               <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国レベルの学力の定着</li> <li>・全ての学校において授業の質の向上を目指した実践</li> </ul> </li> <li>○管理職と主要主任が連携した組織的な学力向上</li> </ul>	
達成指標	取組指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全国学力学習状況調査 小・中とも全ての区分において全国平均を上回る</li> <li>○ 県学力定着状況調査において小・中とも総合偏差値が50以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学力向上支援教員による他校訪問 年2回 (小学校 校内研究時を含む、中学校 近隣との合同開催 を含む)</li> <li>○ 学力向上支援教員による公開授業(3回)と研修会・説明会の合同開催 (年1回以上) 参加・・・小学校:全校より1名以上 中学校:教科担当者を中心に</li> <li>○ 市中学校学力向上教科部会の開催 (年2回)</li> <li>○ 市学力向上研究指定校を指定し、新大分スタンダードを基盤にアクティブラーニングを意識した研究を進め、市内への普及を図る(小・中それぞれ 1校)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 低学力層を 小学校 低学年 5%以下           中学年 10%以下           高学年 15%以下 中学校 15%以下 (低学力層 小 正答率 50%、中 40%未満)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 習熟度別指導推進教員による年3回の授業公開と指導主事による研修の合同開催(年1回) 参加・・・小学校:全校より1名以上 中学校:教科担当中心</li> <li>○ 各校における補充学習の充実 全小学校における 放課後TRYの実施 全小・中学校における 夏休みTRYの実施</li> <li>○ 全ての学校におけるUDのの良さを取り入れた授業展開の実施</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全ての学校において 学力向上に関わるプロジェクト会議等を設置し、「授業改善の5点セット」の運行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市における主要主任会議(教務主任・研究主任)の開催(年2回)</li> <li>○ 「授業改善の5点セット」の提出(年2回)</li> </ul>

## 行動計画

### ①「中学校学力向上対策3つの提言」の実施に関して

1. 学校の組織的な授業改善による「新大分スタンダード」の徹底
  - 「新大分スタンダード」に基づいた市における重点的な取組の設定、および学期毎の評価の提出
  - 学力向上指定校を指定し、授業公開での取組の還元
    - ・ 「新大分スタンダード」を基盤に、生徒指導の3機能を意識した問題解決的な展開を目指した授業の構築
  - UDの視点から「新大分スタンダード」をとらえ、全市におけるUDの良さを取り入れた授業展開の構築 ・研究指定校を設置し、外部講師等の招聘取組の普及
  - 学力向上支援教員の授業公開や他校指導による、授業の質の向上(問題解決的な授業の充実)
  - 各校における授業改善の取組内容を考慮した、授業観察シートの作成及び、学期毎の取組の報告  
管理職＋主任による授業観察及び指導の充実
2. 学校規模に応じた教科指導力向上の仕組みの構築
  - 市中学校学力向上教科部会を開催し、市全体の指導力の向上、学力の向上を図る (年2回)
  - 各教科部会における「新大分スタンダード」に基づく授業力向上・授業改善の充実
    - ・ 教科部会における支援体制の充実
    - 学力向上支援教員の公開授業時(年3回)・習熟度別指導推進教員による授業公開時(年3回)による県教委。市教委による支援・指導
  - 市で定める「中学校学力調査」における作問を通して、授業改善を図る(年2回)
  - 小規模校における合同部会の開催の推進
    - ・ 三重中以外の学校を2ブロックに分け、各ブロックにおける部会研究の推進
    - 学力向上支援教員による他校訪問をブロックを活用して行う(年1回)
    - ・ 三重中における教科部会の推進、市教委と竹田教育事務所と連携した支援
    - ・ 意図的な「タテ持ち」実施に向けての市教委による指導や支援
3. 「生徒と共に創る授業」の推進
  - 「学級づくり」「集団づくり」の視点から、特別活動の充実を図る。
    - ・ 市教職員研修講座に「学級づくり」「集団づくり」の研修講座を設ける
  - 生徒による授業評価や授業の満足度調査などを実施し、授業改善に反映させる。
    - ・ 各校における取組の情報共有を行い、自校の取組にいかす
  - 「学びに向かう学校」づくり中核校(三重中)での実践発表会の開催
    - ・ 三重中における取組の共有と取組の普及
4. その他
  - 低学力層の底上げ
    - ・ 授業中における手立ての構築(評価規準の設定・ 補習学習の取組)
  - 英語科による学力向上支援教員配置による小・中連携の構築

### ②小学校の授業改善の取組について

- UDの視点から「新大分スタンダード」をとらえ、全市におけるUDの良さを取り入れた授業展開を構築する
  - ・ 研究推進指定校を設置し、外部人材の活用取組の普及  
センター指導主事 本庁指導主事 等の招聘
- 学校図書館活用教育TRYの推進
  - ・ 拠点校を設置し、市費による図書館アドバイザーを配置し図書館活用教育の充実を図る
  - 公開発表を行い、市全体への普及を図る
- 学力向上研究指定校を設置し、外部指導者の実践から学ぶ
  - ・ 「新大分スタンダード」を基盤とし、生徒指導の3機能を意識した問題解決的な授業展開を目指した実践の構築
  - ・ 指導主事(県・センター・事務所・市)による指導
  - ・ 外部指導者の実践から学ぶ
- 学力向上支援教員および習熟度別指導推進教員による「新大分スタンダード」に基づいた授業力向上
  - ・ 「単元構想シート」を活用した、単元を通して課題解決を目指す言語活動の位置付いた授業の構築のための学校訪問
  - ・ 習熟の程度にあわせた授業展開の工夫
  - ・ 低学力層の底上げ
- 小学校定期学力調査による実態把握と弱点克服

### ③家庭・地域と連携した学力向上の取組について

- 児童生徒の生活スケジュール表を作成しての家庭と連携した学習習慣の定着
- 家庭学習100%実施を目指し、家庭への働きかけと、市による調査の実施
- 各町における小・中一貫教育TRY推進協議会(学校運営協議会)における目標協働4点セット(目標協働達成型)を作成しての、家庭・地域と連携した取組の充実
- 放課後の時間帯を利用した小学校放課後TRY講座における、家庭・地域の方の参画
- 夏季休業中における地元大学生による中学校TRY講座、小学校夏休みTRYの実施
- PTAの学級懇談における家庭学習への働きかけや、諸学力調査についての説明。共通理解